

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
 発行者 角田 美枝子

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 鈴木日退連共同ビル 2F
 電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

第七十二回定期総会が令和七年

五月十九日に開催されました。東京都教育庁指導推進担当部長の市川茂様をはじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席いただき、市川部長からは都の教育の現状と取り組みを熱く語っていただきました。

私は前述の定期総会において会長に再任されました。引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

会長一期目は、本会の財政問題の解決に取り組みました。二期目の令和七年度より、会報発行を年四回から三回に減らして経費を削



本会存続と飛躍の基盤 支部活動における人と人との絆

東京都退職校長会会長 角田 美枝子

減します。紙面の減少は編集の工夫などに対応して、会報の一層の充実に向けてまいります。また「支部助成金」を令和七年度より段階的に減額し、令和九年度からは会則を改正して支部助成金を終了します。支部長各位と会員の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。本会事務所は、本年五月末をもって、同ビル二階の「小会議室」に移転して、家賃を削減いたします。

一方、収入を得ることに力を注ぎました。教職員共済生活協同

組合の広告収入、都民互助会の寄付金、そして、日本教育公務員弘済会の「団体研究助成金」の受給です。

しかし今後も、会員数が減少していますので、財政問題は続きます。

令和六年度、本部役員は「一人が一人を勧誘」を合言葉に、未入会の方々に声をかけ続けました。

各支部では、支部長や役員の方が労を厭わず東奔西走し、未入会者の方にはお一人お一人の担当を決めるなどして、入会活動に汗して

くださいました。その成果が令和六年度に新入会員六十四名を迎える形となって現れたことに、お礼申し上げます。

それでも尚、ご逝去された方々や様々な事情で退会された方が新入会員数を上回るため、会員増強は本会の喫緊の課題です。

会員増強の鍵は、各支部で行っておられる「活発な支部活動」にあると思います。支部毎に開催している見学会や研修会などの活動は、人と人との絆を深めていると思います。支部活動から伝わる退

職校長会の魅力が、会員増強の原動力になると確信しております。

是非、支部活動の更なる活性化を図り、人と人との絆を深めて会員を増やしてまいりたいと思います。

各支部の皆様のために、本部としてできることがあります。本部は、支部の皆様と心を通わせられるよう、機会がありましたら、直接お尋ねしたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

主な記事

- P1 巻頭言 会長挨拶
- P2 令和七年度 定期総会・総会概要
- P3 令和六年度主要事業報告
令和七年度事業計画
支部活動助成金について
会員増強プロジェクトチームの活動
- P4 令和6年度 決算書
- P5 東京都教育庁幹部との教育懇談会

- P6 東京都の『不登校対策』について
教職の魅力・教員の育成
学校支援事業について
- P7 支部だより、新入会員の声
令和7年 春の叙勲 受章会員、高齢者叙勲受章会員
- P8 物故者、応募コーナー、叙勲の掲載手順とお願い
編集後記

令和七年度 定期総会

日時 令和7年5月19日
午前11時 開会
会場 主婦会館プラザエフ

【定期総会概要】

令和七年度定期総会は、五月十九日（月）四ツ谷駅前の主婦会館プラザエフにて開催されました。東京都教育庁指導推進担当部長の市川茂様をはじめ11名のご来賓にご来臨賜り、会員80余名の参加で行われました。

角田美枝子会長の挨拶、三名のご来賓のご祝辞に続き、新入会員・長寿会員の紹介、功労会員への感謝状贈呈、栄誉会員紹介のセレモニーが行われました。続いて桜庭清徳・鹿田克己両議長のもと議事に入り、令和六年度の会務報告、決算報告に続き、加藤紀美子役員選考委員会委員より新役員の推薦がなされ承認されました。新役員を代表して角田美枝子会長から力強い挨拶がありました。その後令和七年度の事業計画・予算に関する審議が行われ、承認されました。

最後に業務運営改善委員会宇津木順一委員長、財政安定化委員会草野一紀委員長より両委員会の報告があり、定期総会は閉会しました。

（総務部担当副会長 赤坂寅夫）

定期総会の開催に寄せて

東京都教育庁

指導推進担当部長 市川 茂

本会が長きにわたり、様々な活動に取り組み、東京都の教育の発展に貢献されておられることに、感謝申し上げます。

東京都では、新たな「教育施策大綱」を策定しました。その実現に向け、今年度は、「新しいステージにおける教育の展開」、「多様化する児童・生徒への対応のブラッシュアップ」、「学校における『働き方改革』の抜本的な推進」を三本の柱として、施策を展開しています。

例えば、「最先端のデジタルの利用」と「学校等でのリアル学び」を組み合わせた学びを開発し、都立高校から展開するなど、子供たちの成長を支えていきます。また、スクールカウンセラーの配置や不登校対応のための校内分教室「チャレンジクラス」の設置を拡大するなど、きめ細かな教育の充実を図っていきます。

今後、東京都における教育の更なる充実に御協力賜りますようお願い申し上げます。

全国連合退職校長会

会長 田中 昭光

貴会は昭和29年創立以来今まで、会員の親睦と互助を深め地域・学校の教育に寄与されてきました。

国は、グローバル化や技術革新が進む予測困難な時代に、児童生徒が未来社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく資質・能力を育成することを学校教育に求めています。具体的には、激動する社会や学校現場の状況の中で全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的実現を図り、主体的・対話的で深い学びに向けた取り組みを更に進化させ、教育の質を向上させることを求めています。そのためには、教師に優れた人材を確保することが必要です。文部省は、質の高い公教育の再生にむけ、働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実に取り組むことを公表しました。

全連退としては、学校支援活動や地域活動に貢献してまいります。

東京都公立高等学校長協会

会長 加藤 瑞樹

定期総会の開催、おめでとうございます。退職校長会の皆様には、日頃より私共の学校経営に御支援・御協力をいただきありがとうございます。

近年、グローバル化や生成AIの進歩など技術革新が急速に進む社会において、子供たちに求められる資質や能力も変化しています。3月には「東京都教育施策大綱」が策定され、「新たな教育のスタイル」としてデジタルとリアルを融合した新しい学びが挙げられています。どんなに技術革新が進んでも、児童・生徒を育てるのは人であると思っています。

また、不登校児童・生徒が増加するなか、一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育の充実、少子化の影響による学校の再編・統合、学校の特色化や魅力化の促進、教職員の働き方改革など喫緊の課題が山積しております。

様々な課題解決に向け、今後とも御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

令和六年度主要事業報告

【活動の重点】

- ① 役職定年制の導入に伴い会則を一部改正して六十歳で役職定年を迎えた方に入会を勧め、多くの新入会員を迎えた。
- ② 財政安定化にむけての方策を検討の結果、会報の年発行回数減と支部助成金の減額計画を支部長会で了承を得た。
- ③ 生涯学習の推進に向けて、「クラブに関する規程及び運営上の原則」を作成・周知した。会員研修会を二回実施した。
- ④ 各区市の学習支援員等に関する情報を調査し、活動事例を掲載した報告書を研究助成金を得て作成した。

【各部の活動】

- 〔総務部〕各期の異動報告に基づいた会員数・会員の動静の把握と簿版名簿の作成・発行。諸会議のスムーズな開催運営。
- 〔会計部〕会報等の発送費の値上がりの課題に対して事務局と協力し発送業者を替えるなど、支出削減の一層の努力。
- 〔広報部〕会報を発行・発送。七年度からの年三回発行に向けての検討。
- 〔福利厚生部〕他部との連携による福利厚生に関わる諸情報の収集と正確な情報発信。
- 〔生涯学習部〕会員研修会を理論編と実践編の二回に分けて実施。クラブ長会で「クラブに関する規程及び運営上の原則」を周知徹底。「支部活動一覧表」をま

とめ支部間交流を活性化。
〔情報推進部〕ホームページの更新作業、運営・維持管理。

令和七年度事業計画

【活動の重点】

- ① 役職定年を迎えられる方や本会正会員でない方等に積極的に入会を勧誘する。
- ② 本会事務局を移転し事務所費を削減するとともに、これまで同様財政課題解決に努める。
- ③ 各区市の学習支援員等の募集情報を提供できる方策の研究を進める。今年度も研究助成事業に応募する。
- ④ 生涯学習の推進のために、支部間交流と会員研修会の充実を図り、本会の魅力を高める。
- ⑤ 都教委や関係団体との連携を継続する。

【各部の活動】

- 〔総務部〕会員数・会員の動静の把握と簿版名簿の作成・発行。
- 〔会計部〕支出削減の一層の努力。
- 〔広報部〕年三回発行、内容の検討と編集・構成の工夫。
- 〔福利厚生部〕福利厚生に関わる諸情報の収集と正確な情報発信。
- 〔生涯学習部〕「世界の蝶」に関する講演と「葛飾北斎」に関する研修会の実施。
- 〔情報推進部〕ホームページの更新作業、運営・維持管理
- （総務部担当副会長 赤坂寅夫）

支部活動助成金について

財政安定化委員会

委員長 草野 一紀

財政安定化委員会では、退職

校長会の活動が将来にわたって持続可能な財政基盤を築くため、すべての事業について経費の削減を検討し、いくつかの提案を行ってきました。事務局長の給与削減、委員会の精選、会報の発行回数の見直し等は、すでに実行されています。それでも大幅な縮減にはならず、厳しい状況は変わりません。

そこで、苦渋の決断ではありませんが、さらなる支出の縮減を図るために、「一人当たり300円の本部からの『支部活動助成金』を100円ずつ段階的に縮減していく」ことを、委員会の最後の提案として上申しました。運営委員会等の承認を経て、支部長会で議論を重ね、承認が得られています。会員の皆様にも、どうかご理解をいただきたく、お願いいたします。

会員増強プロジェクト チームの活動

会員増強プロジェクトチーム

委員長 壺内 明

本委員会は、各校種の退職者や未加入者一覧を作成し支部長の皆様が勧誘活動を円滑にできるように情報提供する活動を任務としている。作成するデータや配布書類は、①退職予定者や役職定年予定者の一覧表。②再任用退職者や役職定年者の未加入者の一覧表。③定年退職後5年経過者の未加入者の一覧表。④41支部配布枚数一覧表。⑤勧誘対象者への通知文と案内文、入会の案内リーフレット、各支部の活動一覧、入会申込書等である。

会員増強は本会の喫緊の課題である。退職者の居住地、勤務地、住所などの一覧表作成は難行苦行の連続であるが、プロジェクトチームは総力を結集してこの課題に取り組む。皆様には、一人でも多くの入会者を迎えられるよう特段のご協力をお願いしたい。

令和6年度 東京都退職校長会一般会計決算書

(自令和6年4月1日～至令和7年3月31日)

単位＝円

1	収入総額	6,379,007	(会費・繰越金・雑収入)
2	支出総額	7,398,414	
3	決算額	△1,019,407	
4	基本積立金からの借入	1,600,000	
5	繰越額	580,593	

◎ 収入の部

単位＝円 △：収入は予算より増

款	項目	令和6年度予算額	令和6年度決算額	増 減	摘 要
①	年度会費 (実質会費)	4,940,000	4,693,400 <i>3,355,200</i>	246,600	2,500円×1,842名 1,300円×66名 未納者 80 (11) 名 <i>(2500円－300円－400円)×1842名 (1300円－300円－400円)×66名</i>
②	繰越金	559,229	559,229	0	
③	雑収入	440,000	1,126,378	△686,378	利子・広告掲載料 懇親会・新年会等残金・祝金 日本公務員弘済会助成金
	合 計	5,939,229	6,379,007	△439,778	
④	積立基本金より借入	1,600,000	1,600,000	0	積立基本金より借入金
	総 合 計	7,539,229	7,979,007	△439,778	

◎ 支出の部

単位＝円 △：支出は予算より増

款	項目	令和6年度予算額	令和6年度決算額	増 減	摘 要
会議費		420,000	376,748	43,252	
1	総 会 費	360,000	332,892	27,108	総会に関する諸費（会場費、記念品費、発送費等）
2	役 員 会 費	60,000	43,856	16,144	都公立一覧（黒手帳）・五団体懇親会・全連退教育懇談会 都庁幹部との懇談会等
3	部 会 費	0	0	0	各部の会合・資料印刷・通信費
4	各 種 委 員 会 費	0	0	0	各種委員会資料作成・通信費等
事業費		2,279,000	2,096,398	182,602	
5	会員名簿発行費	20,000	5,000	15,000	会員名簿作成・発送費・通信費等
6	会 報 発 行 費	650,000	575,740	74,260	会報222～225号印刷費
7	生 涯 学 習 費	40,000	24,856	15,144	会員研修会会場費等・講師謝金
8	慶 弔 費	500,000	445,000	55,000	香料
9	渉 外 費	5,000	5,000	0	他機関との交渉・現職校長会連絡費等
10	クラブ補助費	64,000	64,000	0	クラブ事業の助成金
11	教 育 支 援 費	0	0	0	案内状作成・発送費・資料作成費
12	会 員 増 強 費	100,000	88,236	11,764	新会員入会員に関する通信費 会報増刷印刷費
13	HP・インターネット関連費	140,000	148,500	△8,500	HP・インターネット関連費
14	支部活動助成費	600,000	570,066	29,934	支部助成・振替料等 ※300円×1,908名
15	支部活動祝金	150,000	170,000	△20,000	支部総会・周年行事等の祝金
16	島 嶼 活 動 助 成	10,000	0	10,000	支部長会交通費一部負担
事務費		4,840,229	4,922,934	△82,705	
17	事 務 用 品 費	70,000	76,811	△6,811	事務用品・消耗品当
18	備 品 費	0	0	0	事務機器等
19	事務局員行動費	480,000	480,000	0	本部事務局員行動費・事務補助員行動費
20	事 務 所 費	1,900,000	1,862,075	37,925	事務所借料・光熱費・電話料等 家賃月145,000円
21	印 刷 費	50,000	105,269	△55,269	資料文書等印刷費
22	コ ピ ー 機 費	500,000	506,433	△6,433	コピー機・印刷機リース費 コピー費
23	通 信 費	335,000	207,397	127,603	通信連絡用諸費・会報等の送料
24	交 通 費	510,000	741,700	△231,700	支部長・役員会・部会・事務局員等交通費半額
25	全連退分担金	760,000	721,600	38,400	全連退分担金 400円×1,804名
26	事務所設置等積立金	50,000	50,000	0	事務所設置等積立
27	記念行事積立金	10,000	10,000	0	周年行事積立金
28	名簿発行積立金	20,000	20,000	0	名簿積立金
29	関プロ積立金	50,000	50,000	0	R10年東京大会の積立金
30	諸 費	90,000	91,649	△1,649	関プロ栃木大会参加費 傷害保険費
31	雑 費	5,000	0	5,000	
32	予 備 費	10,229	0	10,229	
	合 計	7,539,229	7,398,414	140,815	

令和6年度 特別会計決算書

1 事務所設置等積立金（積立基本金）	2 記念行事積立金
収 入	収 入
繰越金 22,442,955	一般会計へ 1,600,000
R6年度都民互助会積立金 1,057,400	前年度繰越金 2,731,292
R6年度事務所設置等積立金 50,000	本年度積立金 10,000
普通・定期利息 772	
計 23,551,127	利息 1,400
(R6年度まで積立額 102,047)	計 2,742,692
次年度繰越金 21,950,907	計 0
	次年度繰越金 2,742,692

3 会員名簿積立金	4 関プロ積立金
収 入	収 入
繰越金 20,000	繰越金 10,000
本年度積立金 20,000	本年度積立金 50,000
利息 12	利息 1
計 40,012	計 60,001
次年度繰越金 40,012	計 0
	次年度繰越金 60,001

令和7年4月1日

東京都退職校長会 会長
〃 会計部長

角田美枝子 ㊞
直井 一郎 ㊞

諸帳簿・証書等・関係資料と対照監査したところ、適正且つ正確に処理されていることを確認しました。

令和7年4月17日

監事・氏名・印

伊藤 誠一 ㊞
澤海 富保 ㊞
山内 俊久 ㊞

東京都教育庁幹部との 教育懇談会

令和7年2月10日(月)、都庁第一本庁舎内の会議室を会場に標記の懇談会がもたれました。懇談会にはご多用の中、藤田修史様(指導部指導企画課長)、坂本教喜様(指導部義務教育指導課長)、西岡陽子様(指導部特別支援教育担当主任指導主事)、徳田哲吉様(人事部職員課長)、渡辺浩一様(教職員研修センター企画部企画課長)、平林信彦様(教職員研修センター研修部授業力向上課長)、赤津一也様(指導部企画推進担当課長)の方々が出席されました。本会からは、角田会長以下、相談役2名、特別委員会委員長2名、副会長4名、部長2名、事務局長が参加しました。

事前に設定した「東京都の不登校対策について」「教職の魅力や社会に伝える広報活動と教員の育成について」「本会の『教育への寄与』の取り組みについて」の三つのテーマに対して担当の方から丁寧に回答いただき、その後、懇談を行いました。

なお、東京都教育委員会からのテーマへの説明は次の通りです。

東京都の『不登校対策』 について

東京都教育庁指導部
主任指導主事 美越 英宣

都では、不登校の子供一人一人の状況に応じた支援により、「学校や関係機関と関わりをもつことができている子供をゼロにすること」を目標にしている。

昨年度からの継続事業は、不登校加配教員の配置、校内別室支援員の配置、教育支援センターや学びの多様な学校の取組への支援等である。

今年度の新規事業は2つある。

第一は、チャレンジクラスの設置である。都は独自に、校内の空き教室を利用したチャレンジクラスを中学校10校に設置するとともに、複数の教員を配置する支援を行った。設置校では、通常の学級と行き来することによって理解を深め、学力が向上し、登校日が増加した等の成果が上がっている。

第二は、不登校対応巡回教員の配置である。中学校143校を対象に複数校を巡回する33人の教員を配置した。学校からは、校内の教員と巡回教員の連携により、子供が安心できる校内別室の環境を実現した等の報告を受けている。

今後、不登校の子供の社会的自立を実現できるよう取り組んでいく。

教職の魅力・教員の育成

人事部勤務課 教職員研修センター
研修部授業力向上課長

平林 信彦

東京都教育委員会では、HPや「Tokyo教育Festa!」等の各種イベント、SNS等、あらゆる媒体で教職の魅力の情報発信に努めています。初任給など、処遇面についても、HP等で情報発信しています。

実態として受験倍率の低下は、大量採用により、既卒者層が順次合格していることによるものです。応募人員の増加に向けて新卒者のほか、社会人の掘り起こしが重要だと考えており、更なるPRに努めていきます。

東京都では採用された日から3年間、若手教員育成研修を受講します。受講者は自己の課題を研修支援ファイルで明確にし、管理職等と相談し研修を進めます。また、集合研修とオンデマンド動画による研修を並行して受講します。オンデマンドは視聴時間に自由度があり、働き方改革の推進にも貢献しています。今後は、「全国教員研修プラットフォーム・

Plant」の研修履歴を蓄積できる利点を活かし、継続性のある研修を進めていきます。

学校支援事業について

東京都教育庁人事部
職員課長 徳田 哲吉

副校長補佐配置支援事業は、区市町村への補助事業で、副校長補佐の任用は区市町村が行っております。

スクール・サポート・スタッフ、エデュケーション・アシスタントについても同様です。

人材の募集も区市町村で行っており、募集方法は区市町村によって様々です。

エデュケーション・アシスタントでは、人材確保の観点から一部の区市町村が人材派遣を活用していますが、人材派遣を活用するかは区市町村の判断となっています。

副校長支援事業と、スクール・サポート・スタッフでは人材派遣を認めておりません。

人材確保が困難な区市町村においては、TEPROの人材バンクを活用しているところもありますが、都教委では全体の状況を把握しておりません。



支部だより

クラブ活動の充実を
目指して

江戸川支部長 神田 茂

コロナ明けから大きく変化した活発なクラブ活動を紹介します。

最初に歴史の長い囲碁クラブはこれまで夏季と秋季の年二回開催を平成五年から月一回開催に拡充しました。初心者から有段者まで上達を目指し楽しんでいます。

「自分磨き」をコンセプトにした女性活躍クラブが平成四年に発足し、これまで『北斎美術館』『浅草界隈の散策とかばん博物館』『六義園と東洋文庫』『ヨガ体験』『法隆寺宝物館』『角野栄子文学館』『根津美術館』等を見学・体験し、後のランチ会で懇親を深めています。

従来からある旅行クラブと新しく発足した自然探訪クラブが共催で平成五年から『猿島へ!! 東京湾に浮かぶ無人島!』を企画、戦艦「三笠」も見学し、翌年は『ANA機体格納庫見学』を企画し好評でした。クラブ活動を充実させ会員間の楽しい交流を深めています。

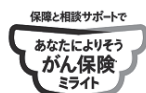
新入会員の声

新たな環境で

葛飾支部 風澤 明子

定年退職を迎えた令和四年三月。その後の再任用校長を含めた四十年間は、教師以外の仕事を経験していない私にとって、子供、保護者、同僚、上司、先輩、研究仲間など多くの出会いを通して社会を学び、教師としての喜びや達成感を味わうことができた時間です。これまでお世話になった皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は、葛飾区総合教育センターで就学相談を担当しています。知的な遅れや発達障害等の課題のある子供たち、その保護者と関わっています。これまでの経験を生かしつつも、新たな視点での学びや発見が多くあります。子供たちが生きている今と未来、そしてその環境を考える仕事の重みも感じています。毎日を大切に、笑顔で元気に過ごしていきたいと思っています。



あなたによりそうがん保険「ミライト」

【治療給付金額 50,000円】

被保険者の契約年齢 0歳～満85歳

治療給付金

がん・上皮内新生物の治療を目的として 右の①から⑤のいずれかに該当した月 ごとに 5万円/月額
※ホルモン療法のための月は2.5万円/月額

診断給付金

一時金としてがん30万円上皮内新生物3万円

通院給付金

1日につき3,000円

①入院
②手術
③放射線治療
④抗がん剤治療・ホルモン療法
⑤緩和療養

「がん」「上皮内新生物」と診断確定されたとき。

「がん」「上皮内新生物」の治療を直接の目的とする所定の通院をしたとき

保険期間

終身保障

月払保険料例 個別取扱

左記プランの場合
解約払戻金無型
保険料払込期間:終身/定額タイプ
がん診断保険料払込免除特約なし

年齢	男性	女性
60歳	3,546円	2,309円
65歳	4,406円	2,542円
70歳	5,410円	2,762円
75歳	6,042円	2,894円
80歳	6,689円	3,086円
85歳	7,318円	3,346円

・保障の開始まで所定の待ち期間(保障されない期間)があります。

・ご契約の際には、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

・個人情報の利用目的：アフラック等各種商品やサービスの案内・提供・維持管理に利用します。詳しくは募集代理店HPをご参照ください。

保険料は、2025年5月現在のものです。

資料請求・お問い合わせ・お申込みは下記の三井住友トラスト・ライフパートナーズへご連絡ください

(平日 9:00～ 20:00 土日祝 9:00～ 17:00)

0120-357-212

(募集代理店)

三井住友トラストグループ

(引受保険会社)

三井住友トラスト・ライフパートナーズ

Affac アフラック

法人第一営業部

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

AF360-2025-0173 5月20日(270520)

Tel 03-6367-3666

令和7年 春の叙勲 受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。（敬称略）

旭日双光章（1名） 瑞宝小綬章（1名）
櫻田 昭正（三宅島） 遠藤 隆二（千葉北部）

瑞宝双光章（12名）

小林 進（墨 田） 青木 靖（板 橋） 菊池 秀興（北多摩中部） 藤井 信明（千葉西部）
松本 保枝（目 黒） 矢萩 恵一（足 立） 桐谷 澄男（千葉南部） 桂林 和子（神奈川県）
松山 武士（世田谷） 安達 知子（北多摩中部） 前田 烈（千葉中部） 立中 幸江（地方・茨城県）

高齢者叙勲受章会員

栄えの受章お祝い申し上げます。（敬称略）

（令和7年4月10日現在 本部に届けがあった方々）

瑞宝双光章（19名） 武藤 昇（板 橋） 伊藤 舜一（西多摩） 田中 祥子（西多摩）
河西 敏樹（世田谷） 富岡 義光（練 馬） 宮川 章義（西多摩） 松本 衛（西多摩）
奈良岡幸弘（世田谷） 榊 裕（日 南） 野村慎三郎（西多摩） 新井田 晃（千葉中部）
小川 忠彦（荒 川） 小林 繁人（日 南） 名塚 三雄（西多摩） 福島 久徳（千葉西部）
望月 公子（荒 川） 高橋久志夫（日 南） 稲垣 譲（西多摩） 行谷 隆（神奈川県）

（福利厚生部担当副会長 増田 稔）



ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として
昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。
会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応

 **0120-849-544**

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります



Well Life ウェルライフグループ

東京都民互助会 平安祭典

本社：東京都杉並区上荻3-15-17 営業本部：東京都練馬区北町5-18-15 3階 TEL03-3396-7231

ホームページ


(令和7年4月10日 届出現在)

物故者



謹んでご逝去を悼み
ご冥福をお祈り申し上げます

氏名	年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁
須藤 哲夫	5・8・22	神奈川県	中	90	70
長谷川順義	6・5・15	北多摩西部	小	90	49
高橋 敏	6・7・11	千田市	小	94	1
蓮池 守一	6・7・22	八王子	小	92	30
櫻井 義孝	6・7・29	練馬	小	89	23
岡野 武弘	6・8・15	神奈川県	小	93	72
木嶋 進	6・8・31	北多摩西部	中	95	50
大谷 徹夫	6・9・3	町田	小	89	34
日高 實康	6・10・7	北多摩中部	小	101	45
村上 忍	6・10・9	葛飾	中	97	26
宮内 隆盛	6・10・19	大田	小	92	9
涌井 貞三	6・10・26	荒川	小	95	6版20
相葉 潔	6・10・27	千葉西	小	90	61
八田 泰造	6・11・3	武蔵野三鷹	中	93	40
星野 陽子	6・11・6	武蔵野三鷹	中	74	40
嶋田 進	6・11・10	武蔵野三鷹	中	100	40
川田 進	6・11・17	埼玉県	小	94	65
守屋 章雄	6・11・19	町田	小	109	34
野中 進	6・12・1	北多摩中部	高	90	46
深津茂登夫	6・12・10	北	小	98	18
中里富美雄	6・12・21	埼玉県	高	104	67
高橋 泰介	6・12・22	埼玉県	小	90	65
土田 晴夫	6・12・28	練馬	小	91	23
黒江 實親	7・1・5	町田	中	88	35
倉上 保	7・1・6	埼玉県	小	93	65
荒木 昌善	7・1・12	江戸川	高	103	27
熊野 敦	7・1・15	神奈川県	中	91	72
松本 衛	7・1・16	西多摩	中	88	55
齋藤 邦衛	7・1・30	千葉中部	小	91	59
中村 康成	7・2・5	日南	小	74	37
石川 明	7・2・16	足立	小	72	25
名塚 三雄	7・2・16	西多摩	中	88	54
中島敬太郎	7・2・21	北	小	95	18
橋本 肇	7・3・2	板橋	小	83	21
佐野 和夫	7・3・20	西多摩	高	95	54
田中欽一郎	7・3・21	府中	小	90	47
加藤 清二	7・3・23	西多摩	小	94	56
木村 國子	7・4・4	荒川	小	82	6版20

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)

応募コーナー

俳句

寄稿 江東支部俳句の会
「四葉句楽部」

タカンナの土に隠れし実の太さ
水を得て苗待つ横瀬の棚田かな 薮 次雄
朝食の真つ赤なトマトにかぶりつき
叩けどもあざわらう蚊はそこになし 鈴木 正孝
ユズリハや枝先伸ばし葉を落とす
緑葉の色濃く続く櫛道 佐藤 正広

句探し風ひらひらと竹洛葉
青梅に子らと梅もぎ過ぎし日よ 野村 文章

縁側に座して黙想若葉風
緑さすベンチに母と子の時間 田中 真弥子

紫陽花や一穂ごとの自己主張
足下に墓ぬつと居る薄暮かな 加村 隆治

短歌

踏んばって友を立たせる組体操
顔のゆがみて鬼気せまり来る
夏の陽を背中に受けて甲羅干す
ピンクの股を真直伸ばして
黒き雲激しき雨より鋭き光
階下の教室より悲鳴の届く
中野支部 田中 弘志

お詫びして訂正

会報225号 応募コーナー 俳句

正 称津 啓
誤 称津 啓

叙勲の掲載手順とお願い

*高年齢者叙勲は①支部長から事務局へ連絡②内閣府発表で確認③福利厚生部で原稿作成④広報部で校正

*春秋の叙勲(4/29、11/3)は①新聞、内閣府の発表で「教育功労」から氏名抽出。東京、千葉、埼玉、神奈川、地方②会員・非会員の確認③福利厚生部で原稿作成④広報部で校正

*「お願い」教育功労以外の受章についてはご連絡ください。

編集後記

去る5月に開催された定期総会において角田美枝子会長が再任、事業計画等も承認されて令和7年度の本会の活動が力強くスタートしました。本年度初の会報です。今までは4月発行でしたが本年度より会報の発行が年3回(6月・10月・2月)に決定したことにより6月発行となりました。会員の皆様には大変お待たせいたしました。一層内容の充実に努め、「待たれる会報・読まれる会報」を目指して参ります。ぜひご意見等をお寄せください。(西田敦子)